

## 読みたい聴きたい

福岡市内の書店『ブックスキューブリック』のオーナー・大井実さんに、毎回テーマに沿った本と音楽を紹介していただきます。ジャンルを超えて楽しめる作品にぜひ、触れてみてください。

撮影/スタジオパッション

# ココロに、 ウツクシク

## ( 私が本屋をはじめめる原点となった一冊 )

嘘をついてまで仕事はしない。会社や組織に依存しない。自力で生き抜く術が書かれた一冊。



『就職しないで生きるには』  
レイモンド・マンゴー  
中山容訳  
晶文社  
1,470円(税込)

『就職しないで生きるには』。そのタイトルを聞くと、「フリーターのすすめ」のようなマイナスのイメージを受けられる方がいらっしゃるかもしれませんが、でも実はこの本の内容は、自主独立について考えさせられるものであり、私が本屋をはじめめる上の原点となった一冊です。

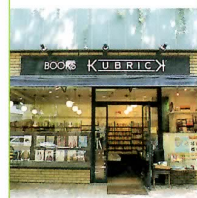
著者は、アメリカ人のレイモンド・マンゴー。彼自らが、自然食品や天然石鹸を作り出した人や、共同農場などをはじめた若い人々取材しています。カリフォルニアやシアトル、サンフランシスコ……と、著者がアメリカ全土を渡り歩く様子はまるでロードムービーのようでもあり、ルポルタージュとしても面白く読み進めることができます。

訳者の中山容もあとがきで触れているように、この本が出版された当時のアメリカは、若者達を中心に行われていた戦争や政治、社会に対しての反論を唱えたカウンターカルチャー、いわゆるヒッピー文化のムーブメントが衰退を迎えていた頃。この本には、それでも自由を忘れることなく自分の生きるリズムにあわせて労働し、

周囲の人々が本当に必要とするものを売って暮らすという、力強い若者たちの様子が描かれています。成功の度合いはそれぞれ違うものの、決して企業や組織に依存するのではなく、自力で生き抜いていく若者一人ひとりの姿に、私はとても感銘を受けました。少し古い本になるので、時代背景にギャップを感じるかもしれませんが、彼らのフロンティアスピリットは十分に伝わってくるのではないのでしょうか。

私がこの本を最初に読んだのは大学生の頃。その後様々な仕事を

経験して本屋を開業しようと考え始めた10年ほど前に、再び手にしました。読み返すと著者も本屋を独立開業していたことを思い出してさらに嬉しくなり、「自分がやりたかったことが詰まっている」と感動したのを覚えています。確かにこの一冊が夢の後押しとなったのです。もし、みなさんの周りに仕事の悩みを抱えている人や、誠実に生きたいと考えている若者がいれば、ぜひオススメを！今回はこの本への想い入れがあまりにも強いので、CD紹介はお休みです。ごメンナサイ！



大井実さん  
話題の一冊から普遍的な作品までを揃える福岡市内の書店「ブックスキューブリック」のオーナー。昨年10月には東区箱崎に第2店舗もオープン。お茶を楽しめるカフェスペースも併設しているそうです。  
ブックスキューブリック  
福岡市中央区赤坂2-1-12 ネオグランデ赤坂1階  
☎092-711-1180 <http://www.bookskubrick.jp>